

つぼみだより

神奈川県立大船高等学校

校長通信

令和2年度第15号

校長 富樫 由里子

令和3年3月17日



東京では桜の開花宣言が出されましたが、六国見山に抱かれ海拔約60mの本校ではまだつぼみがゆっくりと色付きかける程度で、開花にはもう少し時間がかかりそうです。25日の修了式ごろが見ごろでしょうか。

さて、2年生は年度末に通常とは異なる学びを続けています。15日は「夢を叶える、自分の可能性に気付く」というタイトルで講演会を行いました。講師は多くの高校やオリンピックチームにメンタル研修等を行っている大嶋啓介先生。自分を信じられなかった中高生時代、転機となった24歳である方との出会い、脳科学を勉強したことで理解し実感した、人の可能性の大きさ。「ノミの実験」やある小学5年生と担任のエピソード、6歳の少年の跳び箱挑戦などの話や映像を交えながら、自分の可能性を信じること、仲間を信じること、誰かのためというスイッチを入れることの大切さを語ってくださいました。ちょうど『スマホ脳』という本を読んでいたこともあり、おっしやることがストン



桜のつぼみが少しずつふっくらしてきています



図書館には大嶋先生の著書の紹介コーナーがあります

と腹に落ちたように感じました。続く16日にはシチズンシップ教育の一環として、日本労働弁護団の常任幹事である島崎量（しまさき ちから）先生のお話を聞きました。アルバイトをする際の権利や過労死の実態など、具体的な事例を踏まえながらの詳しい説明に、熱心にメモを取る姿が見られました。この後も進路講話や1年生対象の交通安全教室などが予定されています。

また、16日には、藤沢西高校を会場に「鎌倉湘南地区探究的学習発表会」が実施され、本校からは1年生2名が参加しました。2人は総合的な探究の時間で取り組んだ「鎌倉散策」等のフィールドワークに基づいた考察を発表。観光地としての感染対策や国宝級資源の有効活用、景観保全への取組に対する提言などを行いました。彼らの取組が、来年度の1年生の探究活動に引き継がれることを期待したいと思います。



探究的学習発表会で発表する本校生徒。プロジェクタでの画像提示や配付資料の活用などが非常に工夫されていました

書道はがき作品大会で高校生1位に

1年の黒滝千華さんが、第13回書道はがき作品大会で高校生の部の1位に選ばれ「鋭く生き生きとした運筆に魅了される」との講評をいただきました。他にも8名の1年生の作品が特選に。応募作品は18日から21日にランドマークプラザで展示されることになっています。

男子剣道部 県3位の活躍

全国高等学校剣道選抜大会神奈川県選考会が3月14日にとどろきアリーナで行われました。剣道部が男子団体で決勝リーグまで勝ち進み、3位入賞という成績を収めました。

★欠席等の電話連絡は各学年をお願いします。

1学年 0467-47-2374 2学年 0467-47-2375 3学年 0467-47-2376

★本校ホームページもご覧ください。 <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/ofuna-h/>

